

ごみ・資源の処理にかかる費用

ごみ減量にご協力をお願いします！

1年間のごみ処理にかかる費用をご存じですか？
令和元年度は、新施設（可燃およびプラ資源化）の建設もあり、年間約54億円の支出となりました。

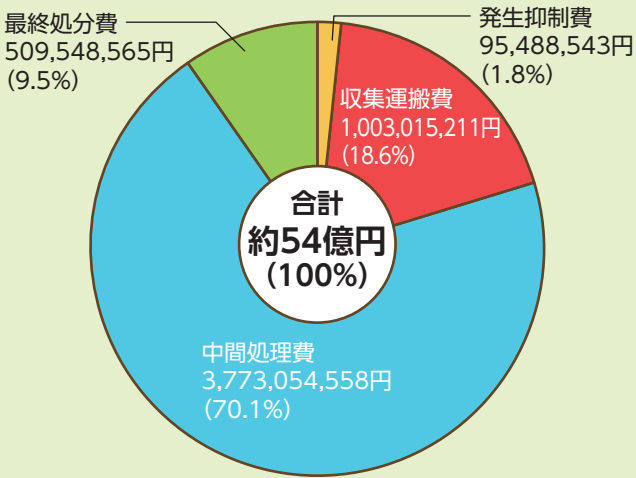
令和元年度ごみ・資源の処理に要した歳出予算 ➡ **54億円**

令和元年度ごみ・資源の処理などの歳入予算 ➡ **17億円**

市民一人当たり ➡ **約3万円**

ごみ・資源物1トン当たり ➡ **約13万円**

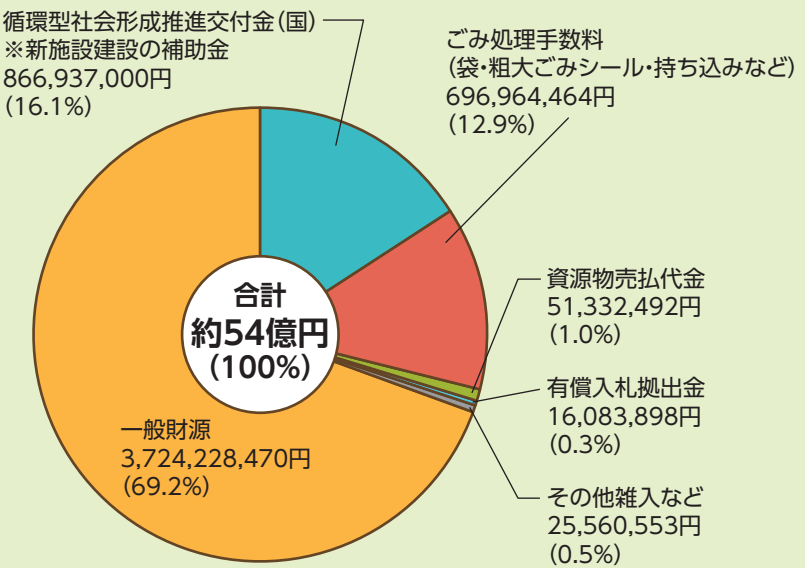
Q 何に使っているの？



1	発生抑制費 9,500万円	市民の皆さまへの啓発(エコー・カレンダーの発行)、指定収集袋の製造・管理など
2	収集運搬費 10億300万円	可燃ごみ・不燃ごみ・プラスチック類ごみ・資源ごみなどの収集にかかる費用
3	中間処理費 37億7,300万円	新可燃ごみ処理施設の建設・運営、プラスチック類資源化施設(不燃ごみ処理含む)の建設・運営、資源ごみの選別などにかかる費用
4	最終処分費 5億950万円	可燃ごみ焼却灰のエコセメント化や不燃性残渣を埋め立てしている東京たま広域資源循環組合への負担金など

Q 市民が負担しているお金で足りているの？

●ごみ・資源処理にかかる歳入(入ってきたお金)
上記約54億円の支出に対し、約17億円の収入がありました。不足する約37億円は市の一般財源(市税など)となります。



循環型社会形成推進交付金(国) ※新施設建設の補助金	8億6,700万円
粗大ごみ処理手数料 ※粗大ごみシール代金	4,600万円
事業系ごみ処理手数料 ※許可業者による搬入	1億5,600万円
指定収集袋 ごみ処理手数料 ※指定収集袋の代金	4億6,200万円
クリーンセンター持ち込みごみ処理手数料 ※直接持ち込み代金	2,400万円
その他手数料 ※し尿くみ取りなど	900万円
資源物売払代金(別表)	5,100万円
有償入札拠出金(別表)	1,600万円
浅川清流環境組合負担金 ※前年度の繰越金精算金	1,800万円
その他雑入	800万円
合計	16億5,700万円
一般財源(市税など)の充当	37億2,400万円

【別表：資源物売却・処理状況】
資源物は下記の通り取り引きされています。－(マイナス)表示は処理・処分費用を支払って引き渡しているものになります。

品目	取引状況	処理費(－)または売却益(+)
段ボール	8.8円/kgで売却	+13,622,930円
雑誌・雑紙	5.5円/kgで売却	+18,468,560円
新聞紙	9.7円/kgで売却	+2,847,690円
牛乳パック	11.8円/kgで売却	+597,810円
古着・古布	3円/kgで売却	+3,074,850円
アルミ缶	58.6円/kgで売却	+12,042,333円
スチール缶	5.7円/kgで処分	－844,580円
びん	処理費用の約5～16%を負担	－1,051,980円
ペットボトル	60.5円/kgで売却	※有償入札拠出金として、ペットボトルの売却益が市に入ってきている
プラスチック(容器包装)	処理費用の約1%を負担	
小型家電	8.5円/kgで処分	－611,600円
金属類	34.7円/kgで売却	+1,475,699円
合 計		+65,705,610円

※資源物は上記の通り約6,500万円で売却できましたが、収集運搬や中間処理費用に約4億円の経費が必要となります
※新型コロナウイルスの影響を受け、令和2年度の売却状況はさらに悪化しています

古着・古布にこんなもの混ざっていませんか？

座布団、布団、じゅうたん、バスマット、ペット用に使用した毛布やタオル、レインコート、毛糸玉など…
これらは資源化ができないため、**古着・古布で回収できません。**

座布団、布団、じゅうたんは粗大ごみでお出しください。バスマット、ペット用に使用した毛布やタオル、レインコートは30cm角に切り、可燃ごみでお出しください。また、毛糸玉は可燃ごみでお出しください。

古着・古布に出す際のルール

- 基本は洗ったものを出してください(クリーニングに出す必要はありません)。
- 雨の日でも回収は行いますが、運搬中に濡れてしまうため、資源化できません。なるべく次の回収日にお出しください。

※現在、新型コロナウイルスの影響で資源受け入れ先の状況改善が見込めないため、古着・古布類の家庭内保管をお願いしています。家庭内保管が難しい場合は、通常の回収日にお出しください

引き続き皆さまのご理解・ご協力をお願いします。